

## 「交通安全教育」 計画と指針

神奈川県立相模原総合高等学校

相模原総合高校においては、生命の尊重という基本理念に立ち、生徒が現代交通社会の中の責任ある一員としての自覚を持ち、的確な判断のもとに安全に行動できる態度や能力を身につけるために、年間を通じて計画的に、組織的に指導していくものとする。

## 1 具体的な指導計画

- ・特に入学年次1年間は交通社会人としての自覚を促し、交通ルールの遵守、自転車の安全な乗車方法の習得等のために継続的に指導していく。

## 2 今年度の新規事項

- ① ワークシートによる交通安全教育
- ② 本校独自の自転車運転者講習制度の実施

月	指 導 内 容	備 考
4 月	・自転車通学生を把握し、ブレーキ、ライト等の装備を点検するとともに学校指定のステッカーを貼ることを義務づける。 ・PTAと連携して通学路において交通指導を行う。	・自転車通学届けの提出。 (1年次)
5 月	・相模原市の一斉「交通安全デー」に参加し、市の交通安全協会、警察署等と連携し朝の通学時における交通安全指導を行う。 ・「産業社会と人間」の時間を使って、市・地域安全課、警察署の協力を得て「交通安全教室」を実施する。	・校庭で約1時間の実技指導。 (1年次)
6 月	通学路において本校職員による安全指導を行う。	
7 月	夏季休業中の事故防止について注意喚起を行う。	全校集会
9 月	通学路において本校職員による安全指導を行う。	
10 月	LHR等の時間を使ってワークシートによる交通安全教育を行う。	
11 月	相模原地区「交通安全高校生大会」に評議委員代表生徒が参加する。	杜のホールはしもと
12 月	冬季休業中の事故防止について注意喚起を行う。	全校集会
1 月	通学路において本校職員による安全指導を行う。	
2 月	LHR等の時間を使ってワークシートによる交通安全教育を行う。	
3 月	春期休業中の事故防止について注意喚起を行う。	全校集会

### 3 ワークシートによる交通安全教育について

- ・ 交通社会人としての自覚を促すためのシート
  - ・・・ 高校生になると、中学時に比べて、事故にあったときの交通手段の種類が変わることを読み取らせながら理由を考えさせる。
- ・ 自転車が法的には車両であることを自覚させるシート
  - ・・・ 高校生が自転車乗用中に、しばしば道交法違反となる行為をしていることを自覚させる。
- ・ 身障者や視覚障害者との共存社会であることを知るためのシート
  - ・・・ 障害者が道路を横断しようとしているときなどに周囲の人間が取るべき行動などを理解させる。
- ・ 道路標識等に対する知識を身につけるためのシート
  - ・・・ 自転車乗用者に、道路に示された標識や標示に対して正しい理解をさせる。
- ・ 交通状況に潜む危険を予測し、事故を未然に防ぐ術を身につけるためのシート
  - ・・・ 交通状況に顕在、潜在する危険を読み取り事前に事故を回避する方法を理解させ、その際には自身の冷静な判断力が大切であることを理解させる。
- ・ 実際に事故にあった場合、どのような対応をとるべきかを知るためのシート
  - ・・・ 事故にあったとき、または事故現場に居合わせたときの基本的な行動を理解させる。
- ・ 犯罪としての事故や違反について知るためのシート
  - ・・・ 悪質な道交法違反をおこしたり、刑事上の責任を負うような事故を起こしたりした場合、その後の人生にまで影響を与えることがあることを理解させる。
- ・ 自動車（四輪）に対する基礎的な知識を身につけさせるシート
  - ・・・ 今後のために、自動車運転の危険性や、責任等についての基礎的な知識を事例等を参考に理解させる。

### 4 自転車運転者講習制度の実施

- ・ 自転車事故を無くすため、校内独自の交通安全制度を実施することで、生徒のルールやマナーを守る意識を高め、安全に自転車を運転する資質を育成する。
- ・ 登校指導（校門）や校外での自転車乗車指導で実施し、交通違反やマナーを守れない生徒に「反則切符」を渡す。反則の点数により段階的に指導する。